



ヤブカンゾウの組織培養による 大量増殖

ヤブカンゾウはユリ科の多年生植物で夏にオレンジ色の花を咲かせ、景観として美しいだけでなく、新芽は山菜として利用されます。優良な苗を早期に増殖するために地下休眠芽を材料として組織培養を利用した大量増殖法について検討しました。

- ①ヤブカンゾウの組織切片から直接不定芽を形成させるためにはNAA0.50～1.00mg/LとBA0.50～1.00mg/Lを添加したMS固形培地が適当です。
- ②発生した多芽体から得た苗条から発根させて植物体を得るためにはNAA0.10mg/Lを添加したMS固形培地が適当です。
- ③植物体を簡易に得るために多芽体が入った培養容器内に発根用の液体培地（MS, NAA 0.10mg/L）を注入するのが適当です。この方法でプラントボックス当たり約10本の苗を得ることが可能です。

組織培養を利用しての植物の増殖方法についての詳細につきましては、普及センター、JAとご相談のうえ、下記までご連絡ください。



株



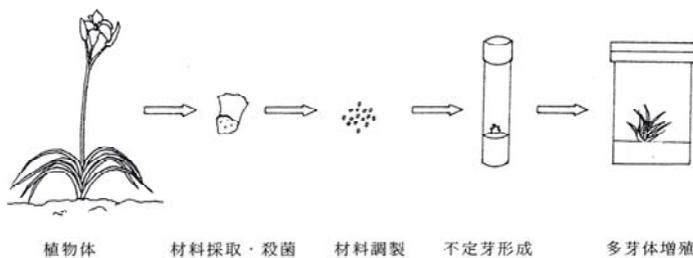
多芽体



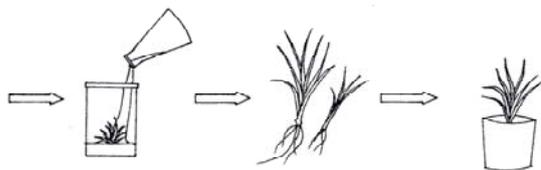
得られた苗



花



植物体 材料採取・殺菌 材料調整 不定芽形成 多芽体増殖



発根用液体培地注入 植物体獲得 順化・鉢上



景観

ヤブカンゾウの多芽体による大量増殖法の概略

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所 野菜園芸担当

TEL (088) 674-1660 FAX (088) 674-3114

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>